

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調査書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

| | | | |
|----|----|----|--------|
| 分野 | 演劇 | 種目 | ミュージカル |
|----|----|----|--------|

申請区分(申請する区分を選択してください。)

| | |
|------|-----|
| 申請区分 | A区分 |
|------|-----|

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

| | | | |
|---------|---|--------|--|
| 複数申請の有無 | 無 | 申請総企画数 | |
|---------|---|--------|--|

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

| | |
|--------------------|--|
| 複数の企画が採択された場合の実施体制 | |
|--------------------|--|

芸術文化団体の概要

| | | | |
|-------------------------|--|--------------|---|
| ふりがな 制作団体名 | かぶしきがいしゃおーるすたっふ | | 団体ウェブサイトURL |
| | 株式会社オールスタッフ | | http://www.allstaff.co.jp |
| 代表者職・氏名 | 代表取締役社長 中嶋友紀子 | | |
| 制作団体所在地 | 〒 111-0051 | 最寄り駅(バス停) | 蔵前駅 |
| | 東京都台東区蔵前2-4-5 K-FRONTビル8F | | |
| 電話番号 | 03-5823-1056 | | |
| ふりがな 公演団体名 | みゅーじかるかんぱにーいっつふおーりーず | | 団体ウェブサイトURL |
| | ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ | | http://www.allstaff.co.jp |
| 代表者職・氏名 | 代表取締役社長 中嶋友紀子 | | |
| 公演団体所在地 | 〒 111-0051 | 最寄り駅(バス停) | 蔵前駅 |
| | 東京都台東区蔵前2-4-5 K-FRONTビル8F | | |
| 制作団体 設立年月 | 1962年 5月 | | |
| 制作団体組織 | 役職員 | 団体構成員及び加入条件等 | |
| | 相談役:土屋由美 代表取締役:中嶋友紀子 取締役:吉田健二,中島康江,安念透 | 別添あり | |
| 事務体制 事務(制作)専任担当の有無 | 事務(制作)専任の担当者を置く | 本事業担当者名 | 松本峻汰 吉田健二 |
| 経理処理等の 監査担当の有無 | 有 | 経理担当者名 | 土屋由美 |
| 本申請にかかる連絡先 (メールアドレス) | matsumoto@allstaff.co.jp 松本峻汰 yoshida@allstaff.co.jp 吉田健二 | | |

| | | |
|-------------------------------|---|---|
| <p>制作団体沿革</p> | <p>1962年作曲家「いずみたく」が音楽及び舞台制作の集団として発足。同時に多くの歌手(佐良直美、由紀さおり、ピンキーとキラーズ)等を養成。「いずみたく」自身は<恋の季節><手のひらを太陽に><見上げてごらん夜の星を>等、数々の楽曲を作曲。その後、日本のオリジナルミュージカルの創作、作曲活動に専念。ミュージカル劇団フォーリーズ(後に改名・イツフォーリーズ)を旗揚げし、数々のミュージカル作品を世に送り出す。「船長」「洪水の前」「おれたちは天使じゃない」他。「いずみたく」亡き後も、その意志を受け継ぎ、現在は、児童青少年、学校、一般と幅広い年齢層に向けてのミュージカルを全国で公演する。近年の上演作品「ルドルフとイッパイアッテナ」「青空の休暇」「霧のむこうのふしぎな町」「見上げてごらん夜の星を」「小さい“つ”が消えた日」「ゲゲゲの鬼太郎」「死神」「秋に咲く桜のような」「遠ざかるネバーランド」「じいじのふしぎなレストラン」「YOSHIKO〜悔いなき命を〜」「てだのふあ」「ナミヤ雑貨店の奇蹟」「獅子吼」「魍魎の匣」「バウムクーヘンとヒロシマ」「ピエタ」「聲の形」他。</p> | |
| <p>学校等における公演実績</p> | <p>1. 親と子どものミュージカル「ルドルフとイッパイアッテナ」 府中市教育委員会、新宿区教育委員会、調布市教育委員会、他の小学校芸術鑑賞教室</p> <p>2. ファンタジーミュージカル「霧のむこうのふしぎな町」 東海村教育委員会、増穂町教育委員会、文京区教育委員会、日立教育委員会 新潟市中学校国語研究会 他の小・中学校芸術鑑賞教室</p> <p>3. ミュージカル「おれたちは天使じゃない」 山形・長野・浜松・北九州 他高等学校合同芸術鑑賞行事 桐蔭学園など近郊の高校鑑賞</p> <p>4. ファンタジー「ねこはしる」 金沢市小学校演劇鑑賞教室、増穂町教育委員会、文京区教育委員会</p> <p>5. ミュージカル「フェアブル昆虫記」 金沢市小学校演劇鑑賞教室、袖ヶ浦市教育委員会、他の小学校芸術鑑賞教室</p> <p>6. 文化庁本物の舞台芸術体験事業・(子どものための優れた～・文化芸術による子供の育成事業・文化芸術による子供育成総合事業・舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)) H20年度ミュージカル「フェアブル昆虫記」、H21年度ミュージカル「野菊の墓」 H22・23年度ミュージカル「霧のむこうのふしぎな町」 H25・26・27年度 ミュージカル「フェアブル昆虫記」 H28・29・30年度 ミュージカル「ルドルフとイッパイアッテナ」 R1年度 ミュージカル「小さい“つ”が消えた日」 R2年度 ミュージカル「小さい“つ”が消えた日」 R3年度 ミュージカル「小さい“つ”が消えた日」 R4年度 ミュージカル「小さい“つ”が消えた日」 R5年度 ミュージカル「ルドルフとイッパイアッテナ」</p> | |
| <p>特別支援学校等における公演実績</p> | <p>彼らの出来る事、望んでいる事に合わせ、動きを調整し、とにかく表現することを楽しんでもらうようにする。音楽は、子どもたちの感性を刺激するものであることから、彼らがその音楽を楽しんで、何かを表現したいと思うように指導する。(特別支援学校に関しては事前の打ち合わせがかなり必要だと思いますので、子どもたちの情報や、授業の現状を事前に理解できるよう、学校とコミュニケーションを綿密に取る予定です。)</p> <p>数少ない観劇の機会を丁寧に創ってあげたいと考えています。</p> | |
| <p>参考資料の有無</p> | <p>申請する演目のWEB公開資料</p> | <p>有</p> |
| <p>※公開資料有の場合URL</p> | <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p> | <p>本編動画 https://youtu.be/RKaQHtsr9CY 生徒参加場面 https://youtu.be/OWjH78NV2kw</p> <p>ID: PW:</p> |

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ】

| | | | |
|--|---|----------|---|
| 対象 | 小学生(低学年) | ○ | |
| | 小学生(中学年) | ○ | |
| | 小学生(高学年) | ○ | |
| | 中学生 | ○ | |
| 企画名 | ミュージカル「ルドルフとイッパイアッテナ」 | | |
| 本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付 | ミュージカル「ルドルフとイッパイアッテナ」 企画: いずみたく 原作: 斎藤洋(講談社刊) 脚本: 杉原泉 作詞: 岩谷時子 演出: 本藤起久子 作・編曲: 近藤浩章 編曲: 吉田さとる・佐藤由理 振付: 明羽美姫(イツフォーリーズ) 歌唱指導: 坂口阿紀 美術: 孫福剛久 照明: 森下泰(ライトシップ) 音響: 返町吉保(キャンビット) 舞台監督: 岩戸堅一(アートシーン) | | |
| | 公演時間 90 分 | | |
| 著作権、上演権利等 の 許諾状況 | 各種上演権、使用権等の許諾手続きの要 否 | 該当あり | 該当コンテンツ名 原作使用権 |
| | 該当事項がある 場合 | 権利者名 講談社 | 許諾確認状況 使用(上演)許諾取付済 |
| 演目概要 | <p><作品について> 本作品の原作は、第27回講談社児童文学新人賞を受賞し、長年に渡りロングセラーを続ける斎藤洋さんの児童書で、個性溢れる愉快な“ネコ”のお話はNHK教育テレビ「てれび絵本」でも取り上げられるなど、子ども達に大人気の物語です。本ミュージカルはイツフォーリーズの創立者である、作曲家・故いずみたくの最期の企画として1993年に俳優座劇場にて初演を迎えました。その後20年以上に渡って、全国の子ども劇場や小学校の芸術鑑賞行事、公立文化施設の一般公演などの上演を繰り返し、2005年には韓国三都市での海外公演でも絶賛された作品です。 また、2016年夏には、フル3DCGによる映画化もされました。</p> <p><あらすじ> 子ネコのルドルフは、ある日、ひよんなことからトラックで遠い町まで運ばれてしまいました。駐車場におそろおそろ降りたルドルフは、頭の上から大きな声で呼び止められました。イッパイアッテナという、このあたりの野良ネコのボスです。彼はふしぎなネコでした。たくさんの名前を持ち、たくさんの知り合いがいて……。そして何よりルドルフがおどろいたのは、イッパイアッテナが字を読める事ことでした。</p> | | |
| 演目選択理由 | <p>1 「ルドルフとイッパイアッテナ」という原作本が日本を代表する児童書であり、1986年に出版されたシリーズ1作目から一昨年に発売された4作目まで約30年に渡る児童書のロングセラーを続けている事。また、2016年には、フル3DCGによる映画の上映もされた。</p> <p>2 原作本が必ず、小学校の図書館にあり、子供たちにとって馴染みのあるお話である事。</p> <p>3 作品のテーマである「勇気・友情・仲間」というメッセージが、現代の子供たちにストレートに届けられる内容である事。</p> <p>4 作品のテーマソング・今は亡き、岩谷時子・作詞「友達がいれば」の歌詞が大人、子供を問わず、心に響くメッセージである事。 「♪友達がいれば 友達がいれば 生きていけるよ 一人ではない 友達がいれば 友達がいれば なくしたものが 見つけられるよ」</p> | | |
| 児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態 | <p>開演して約45分後、給食おばさんとノラ猫たちのシーンと一緒に出演していただきます。ノラ猫に変身して、給食おばさんの呼び込みで舞台上へ、「♪もうすぐ給食時間」というミュージカルナンバーでのサビの部分を含んで一緒に踊ります。作品の中でも一番盛り上がるショーナンバーであり、エンターテインメントされたシーンです。(参加児童数約20名) また、ミュージカルのステージらしいフィナーレ(カーテンコール)でも、同じく、客席から登場し、「♪武勇伝」というナンバーを出演者と一体となってダンスを披露します。(参加児童数、約30名) そして最後に参加した生徒さん約50名全員で、観てくれた仲間に感謝の気持ちを込めてのおじぎと、「♪友達がいれば」というテーマ曲を出演者と共に歌います。</p> | | |
| 出演者 | <p>ルドルフ役 森山真衣(予定) イッパイアッテナ役 豊田豪(予定) ブッチー役 鈴木彩子(予定) デビル役 宮村大輔(予定) 給食おばさん役 2名 神野紗瑛子・刀根友香(予定) おまわりさん 役 志賀遼馬(予定) クマ先生 役 森隆二(予定) 魔女のおばあさん役 米谷美穂(予定) ネコ 役 2名 塩嶋和希・岩城羽風(予定)</p> <p>全11名</p> | | |
| 本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む | 出演者: 11 名 スタッフ: 11 名 合 計: 22 名 | 運搬 | 積載量: 4, 2 t 車 長: 9, 6 m 台 数: 計2 台 |

| | | | | | | |
|---|---------------------------|--------|------------|-------|------------|--------|
| 本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安 | 前日仕込み | 無 | 前日仕込み所要時間 | | 5 | 時間程度 |
| | 到着 | 仕込み | 上演 | 内休憩 | 撤去 | 退出 |
| | 7時45分 | 8時～14時 | 14時～15時30分 | 0分 | 16時～17時30分 | 17時30分 |
| | ※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。 | | | | | |
| 本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません) | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | |
| | | | | | 15日 | |
| | 11月 | 12月 | 1月 | 計 | 35日 | |
| | 20日 | | | | | |
| ※平日の実施可能日数目安をご記載ください。 | | | | | | |
| 児童・生徒の 参加可能人数 | 本公演 | | 共演人数目安 | 50名 | | |
| | | | 鑑賞人数目安 | ～600名 | | |

・舞台の設置場所：フロア
 ・舞台に必要な広さ 横幅17m 奥行き12m
 ・電源容量(主幹ブレーカー容量) 220 A ※50KVA以上 舞台袖まで延長、通常は発電機を手配します。
 ・暗幕必要、暗転有り・出来る限り暗くして欲しい
 ・緞帳必要 ステージ上を楽屋として使用したい
 ・トラック4トン1台・2トン1台 横付け希望
 ・バスケットゴールの設置状況 アップ希望、出来ない場合、位置を正確に教えて下さい。
 ・ピアノの移動有 ステージ上に有る分には問題なし
 ・その他
 朝8時より1時間、終演後1時間の大道具、小道具、照明、音響機材等の搬入、搬出を生徒さんと一緒に作業をしたい(可能であれば)2F、3Fの体育館の場合、大人(先生・保護者)のお手伝いをお願いしたい。
 ツアー初日の公演、午前公演希望のみ、前日から準備作業にて体育館をお借りします。

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



【公演団体名 ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ 】

| 児童・生徒の 参加可能人数 | ワークショップ | 参加人数目安 | 約50名 |
|--|--|--------|------|
| <p>ワークショップ 実施形態及び内容</p> | <p>タイトルは「猫になって踊っちゃおう！」です。何より楽しく演じる事を目標にします。ミュージカルには必要な歌・ダンス・芝居という要素がありますが、全てにチャレンジしてもらいますが、基本、自分の特技を伸ばしつつ、楽しんでもらうことです。</p> <p>自分はどんな「ネコ」になりたいかをイメージし、特にノラ猫、飼い猫の気持ちや、ネコ同士の関係など、自由に想像し、歌やダンスをその気持ちとともに表現、参加する生徒さんが、一つの意味ある場面を作り出していく面白さを感じてもらいます。その学校の生徒たちによるオリジナルな世界感が重要です。</p> <p>講師は4名、1日100分(2時限 プラス休憩時間)で行いますが、できれば、事前に歌詞や音楽を聴いておいてほしいと思っております。</p> <p>「♪もうすぐ給食時間」のダンスシーンに参加20名、フィナーレのダンスシーンに参加30名 最後に2つのシーンに参加した全員で、テーマ曲「♪友達がいれば」を合唱します。</p> <p>性別、学年は問いません。</p> <p>ワークショップ本番当日はコミュニケーションゲームなどで、身体と頭を柔軟にし、ゲームの中で様々なキャラクターになりきる(芝居)。その後テーマソングの歌詞の意味を考えながらみんなで歌います。参加するチーム事に分かれて振付の練習(ダンス)。最後に本番と同じ位置、サイズで感覚を感じながら稽古、及び実際に本番を意識して、音楽に合わせて入退場含め練習を行います。</p> | | |
| <p>ワークショップの ねらい</p> | <p>ワークショップの一番の目的は、生徒の皆さんと一緒に楽しんで心を解放しながら、表現することにあります。</p> <p>講師が生徒さんどうしたらコミュニケーションを取れるかを考え、学校の雰囲気にあったワークショップ環境を生み出します。生徒さんにとって、一猫を演じることで、楽しみながら、主人公のルドルフやイッパイアツテナのドラマに触れ、さらには物語の中にある「友情」というテーマを考えることを目的としています。</p> <p>短い時間ですので、一人一人の演じる猫のキャラクターには、個人差があると思いますが、お互いが意識しながら体験することで、新しい発見が見えるように課題を投げかけていきます。生徒の皆さんが、言われたことだけを間違えずにやるのではなく、自由に想像することで、それぞれの学校でのオリジナルな参加シーンを創り上げることが目的です。</p> <p>本番当日、舞台セット、照明、音響の中で、プロのミュージカル俳優と一緒に出演することによって、今までにない緊張と体験をし、自分に隠された新しい力を発見してもらえよう、願っています。自分たちの表現が、他の生徒さんを感動させることができるということを、実感してもらえよう、取り組みます。</p> | | |
| <p>その他ワークショップに 関する特記事項等</p> | | | |

本事業への申請理由

【公演団体名 ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ】

| | |
|---|---|
| <p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p> | <p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>平成16年より本事業に参加させて頂いています。年々鑑賞行事の予算削減や、授業時間確保のための鑑賞行事中止が相次いでおりました。本事業は約10年の間で鑑賞行事が困難な学校含め、小規模校にも実施できることができ、その重要さを痛感しております。事前ワークショップも含めた実施内容は、劇団が独自で鑑賞行事を行うには予算的に厳しく、充実した事業内容と感じております。</p> <p>携帯電話、ゲーム機器の普及、さらにはコロナ禍による子どもたちのコミュニケーション能力の低下は、将来の危機感でもあります。この大きなテーマに大人たちが社会としてどう対応していくかは社会問題です。人と人のコミュニケーションの向上をこの事業のワークショップ・鑑賞事業の中で意識したいと考えます。</p> <p>私達は、事前ワークショップはワークを受ける生徒だけでなく、劇団側の講師の意識改革にも大きな影響を与えていると考えています。ワークショップで子ども達にとって何を体験させたいのか？本番の鑑賞で、何を感じてほしいのか？こんな、当たり前の事を学校鑑賞行事に関わる、キャスト、スタッフすべてが時間かけて考え、検証・実践を繰り返すことで、子どもたちが将来的に、コミュニケーション能力のアップし、文化芸術に意識を持つこと、そのことが心を豊かにし、社会への貢献に繋がることを確信しております。</p> <p>また、現在私たちの劇団では、幅広い世代を対象に、年間100ステージを超えるミュージカルの上演活動と、130日を超えるワークショップ等の表現活動と、そのための勉強会行っております。この実績とノウハウを生かして、演劇鑑賞行事の素晴らしさをすべての学校、そして生徒さん、先生方に伝えつつ、優れたミュージカル作品を数多くの小学校、中学校、高等学校の巡回公演として行い、更に次世代に繋がる文化の担い手を育てて行きたいと思っております。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>まずは、担当する先生とのコミュニケーションを大事にして行きたい。ワークショップの日程調整や概要説明だけでなく、より詳しいワークショップ内容や作品の事、生徒さんの取り組み方などを丁寧に説明したいと思っております。</p> <p>また、学校側への連絡は、公演独自の確認書の他、ワークショップなどで使用する音源や譜面、台本などを事前に発送し、作品への期待感を持っていただくことを努力いたします。そして、ワークショップにうかがった時、生徒さんのモチベーションだけでなく、この事業に取り組む先生方のモチベーション、そして学校全体の鑑賞事業を迎えるモチベーションを上げて行きたいと思っております。</p> <p>特にこの事業が初めての学校は、「ワークショップ」という耳慣れない行事が決して面倒な物にならないように、柔らかい言葉で説明したいと思っております。</p> <p>生徒参加者に対しては出来る限り名前と顔を一致させるための努力をし、事前ワークショップと本番での、たった2回の出会いを特別なものにできるよう、名簿をいただいたり、ワークショップの資料としてビデオでの記録を残したりいたします。</p> |
|---|---|